



# まちづくり活動支援

## 平成27年度 中川運河助成 ARToC10 アートプログラム実施報告

中川運河の魅力向上につながる現代アートへの助成事業にて、平成27年度に実施された3件をご紹介します。

### 有限会社シネマスコレ

#### 『Filmusic in 中川運河 (フィルミュージック イン ナカガワウンガ)・夏』

中川運河の「夏」の魅力と音楽を盛り込んだ4本の個性豊かな短編映画を制作、上映しました。作品には、全国的に活躍中の監督や俳優を始め、オーディションで選ばれた中川区民や名古屋市民、地元の劇団の俳優などが参加し、地元企業の協力も得て、地元のパワーを中心とした、中川運河を広く発信する映画づくりを行いました。

#### 〈作品概要〉

「ドラママンズ パチがもたらす予期せぬ出来事《名古屋版》」監督：田中要次／「アーリーサマー」監督：中村祐太郎／「せんそうはしらない」監督：神保慶政／「ケツにラジヲ」監督：山田雅和

上映日：平成27年11月14～15日

上映場所：中川生涯学習センター（中川区富川町1-2-12）



### 伏木啓+木田歩

#### 『中川運河 映像アーカイヴ プロジェクト』

空き倉庫を活用し、海と運河、運河の木々、かつての倉庫の様子など様々なイメージが重なりあった身体、映像、サウンド、インスタレーションによるパフォーマンス「wald (ヴァルト)」と、8枚の透過性スクリーンを中川運河に浮かべて映像を投影する運河の鏡面性を活かしたインスタレーション「waltz 2015」の2つのプログラムを実施しました。また、平成25年度から、中川運河の風景や周辺地域の人々を映像で記録し、インスタレーションの展示やWEBで公開しています。

#### 〈実施プログラム〉

「wald (ヴァルト)」

期間：平成27年8月28～29日 場所：リンナイ旧部品センター（中川区広川町4-1）

「waltz 2015」

期間：平成27年11月12～15日 場所：長良橋北側運河上



撮影：村上将城

「waltz 2015」



撮影：稲垣拓也

「wald」

### N-mark (エヌ・マーク)

#### 『一水辺に生息するアートー NAKAGAWA UNGA limicoline Art project (中川運河リミコライン・アートプロジェクト)』

中川運河沿いの空き建物を活用し、中川運河を舞台としたアート作品の展示やフィールドワーク&レクチャーを中心に、常になにか楽しいことがある空間を目指してオープンスタジオの長期の運営を試みました。アーティストの制作風景を見学できるレジデンスプログラムやワークショップで制作したカナディアンカヌーの進水式を行うなど、様々なプログラムを実施して参加者や地域との交流を深めました。

#### 〈実施プログラム〉

「レジデンスプログラム」坂本和也／「運河のリズムを書く」クレメンス・メッツラー／「光晝展 (こうがてん)」加美秀樹／「自作したカヌーは運河に浮かぶか？」安原弘高／「中川運河の詩からⅡ」村田仁 ほか

期間：平成27年4月～11月（オープンスタジオは毎週土曜日）

場所：中川運河アート&リサーチラボ（中川区西日置2-12-15） ほか



## 地域の“まちづくりびと” 養成講座 入門編

2015/11/28～12/20

今年度は北区役所と共催で、愛知学院大学 地域連携センターの協力のもと、愛知学院大学名城公園キャンパスを会場として、まちの魅力を発見し、カタチにして発信する企画を考える中で、ファシリテーションや合意形成のプロセスなどのまちづくりに必要な手法を学び、グループワークを通じてまちづくりデザインを体験できる全4回の入門講座を開催しました。

NPO法人まちの縁側育くみ隊 事務局長の名畑恵さんを講師に迎えた講座では、同団体代表理事の延藤安弘さんによるまちづくりの映像と本を取り入れた幻燈会や会場周辺の魅力を発信するまちあるき、見つけた魅力を発信するための企画をグループで考え、北区長や地域の方をお招きし発表しました。

受講生のみなさまには“まちづくりびと”として地域のまちづくり活動で活躍することを期待し、修了証を授与しました。講座の詳しい様子は都市センターウェブサイトよりご覧ください。



集合写真  
グループワークの様子



平成28年度

## 中川運河助成 ARToC10

## 選考結果

2月11日（木・祝）、平成28年度の助成対象者を選考する選考会が行われました。今回の助成対象は、応募件数5件のうち3件の提案が選ばれました。提案された事業の実施については、中川運河助成 Facebook や Twitter 等で随時発信する予定です。(Facebook・Twitter @ ARToC10)

limicoline  
Art project(リミコライン・アートプロジェクト)  
—水辺に生息するアート—

N-mark (エヌ・マーク)

中川運河沿いの空き建物を、いつでもアートのある空間「中川運河アート&リサーチラボ」として平成26年度に再生し、フィールドワークやアートを展開して地域へ浸透してきました。この取り組みを継続し、アートをおして人のつながりや運河の環境を整えていくことを目指しています。参加者とアーティストがともに制作した作品を運河に浮かべるなど水辺を活用したワークショップや伝統技術を取り入れたアート作品の制作ワークショップなどを実施するとともに、常にアートに触れられるオープンスタジオを展開します。

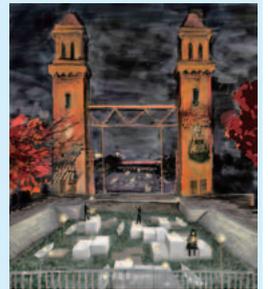


## 航 跡 図

— artery of sound —

高山葉子×ナオヤスタ

『地域の文化として根付いてゆくアートプロジェクト』をコンセプトに、中川運河周辺地域に暮らす子供たちと、150艘の白い「舳（はしけ）」からなる巨大なインスタレーションを制作する「ワークショップ」と、かつて中川運河の水流の出発点であった松重閘門を舞台に、音と映像に加え、周辺の景観や音環境までを取り込んで作り上げる「パフォーマンス公演」の2つを連動して行い、アートの力によって運河に新たな『航跡図』を描きます。



## 月灯りの移動劇場

ピエールミロワール

中川運河を拠点にした世界で一つだけの移動式テント劇場は、運河沿いの歴史建造物から着想を得て、過去、現代、未来へと繋げていく建築をデザインコンセプトとした、誰もがワクワクする劇場を製作します。中川運河での思い出を題材としたミニダンスパフォーマンスやワークショップで制作した木のおもちゃを使用した影絵で踊るワークショップを実施。また、パフォーマンスやおもちゃのワークショップのための巨大な「月灯りおもちゃ箱」を制作します。



## 中川運河助成 ARToC10とは

中川運河を舞台とする市民交流や創造活動が継続的に行われるよう支援するため、中川運河「にぎわいゾーン」の魅力向上につながる現代アートへの助成を行っています。

この助成事業は、「中川運河再生計画」（平成24年10月 名古屋市・名古屋港管理組合 策定）の趣旨に賛同されたリンナイ株式会社からの寄附を活用しています。



## ナゴヤのまちづくり情報があなたのもとに メールマガジンのご案内

メールマガジン「まち活サポートネット」は、地域コミュニティや環境保全、防災、福祉など名古屋の身近なまちづくりに関する情報やまちづくり活動団体から寄せられた情報などをお届けします。

下のQRコードから空メールを送信し、利用規約に同意の上、ご登録ください。

また、団体のイベントをみんなに広げたいという方は、都市センターウェブサイト「まちづくりに関係している団体」より登録後、ご連絡ください。

## ■配信内容

- (1) まちづくり活動支援のお知らせ
  - ・まちづくり活動団体からのイベントなどの情報
  - ・まちづくり活動助成などの情報
- (2) 都市センターからのお知らせ
  - まちづくりに関する都市センターの事業情報 など

## ■配信頻度

月1回程度



QRコードを利用されない方は都市センターウェブサイトをご欄ください  
<http://www.nui.jp/human/support/active.html>